

平成29年度全国学力・学習状況調査、 奈良県学力・学習状況調査の結果について

奈良県教育委員会

・他府県との比較及び県内団体間の比較については、公立学校のデータを利用しています。

(P1～P17)

・私立学校については、本調査へ参加した学校のデータを集計したものです。
(私立学校の参加は任意)

(P4～P5,P11,16)

目 次

平成29年度全国学力・学習状況調査、奈良県学力・学習状況調査の結果について

- | | |
|---------------|------------|
| 1 学力の状況について | P 1 |
| 2 学習意欲の状況について | P 8 |
| 3 規範意識の状況について | P 14 |

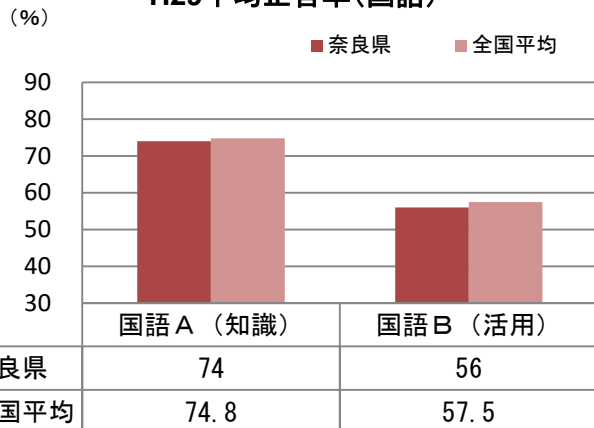
1 学力の状況について

1-1 学力の状況(小学生)

・小学生の学力の状況を4教科の平均正答率で見ると、国語A、算数A、国語B、算数Bの全ての教科で全国平均を下回った。

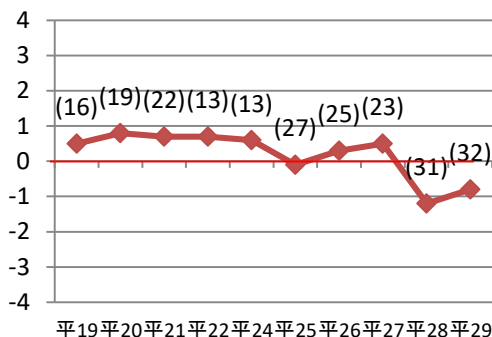
参考:A問題は「知識」の問題であり、B問題は「活用」の問題であってPISA(OECDの国際比較学力テスト)型学力に対応する問題である。

H29平均正答率(国語)

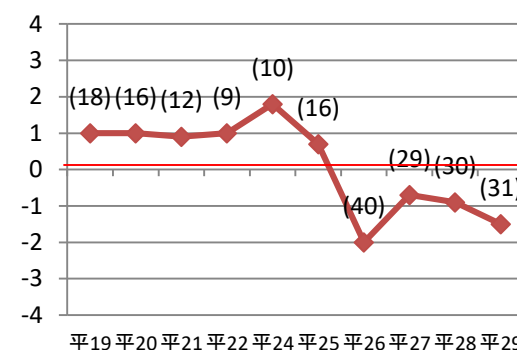


平均正答率の全国平均との差の推移

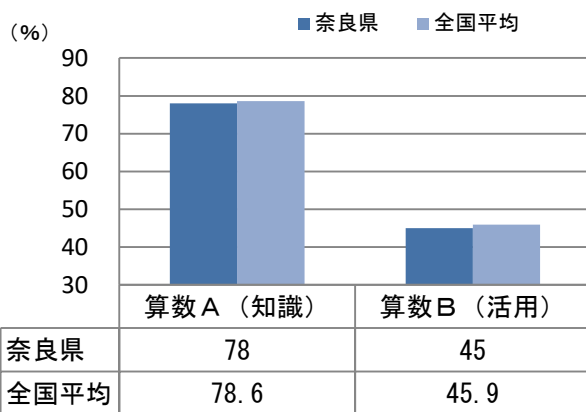
国語 A (知識)



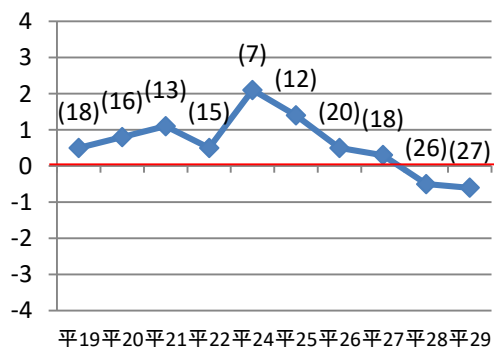
国語 B (活用)



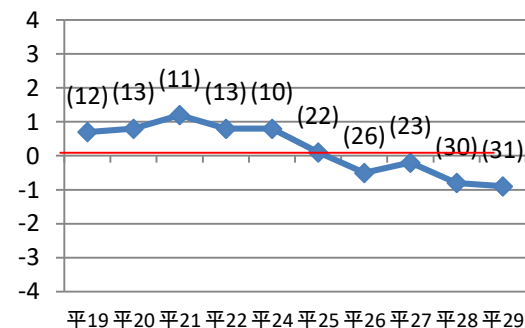
H29平均正答率(算数)



算数 A (知識)



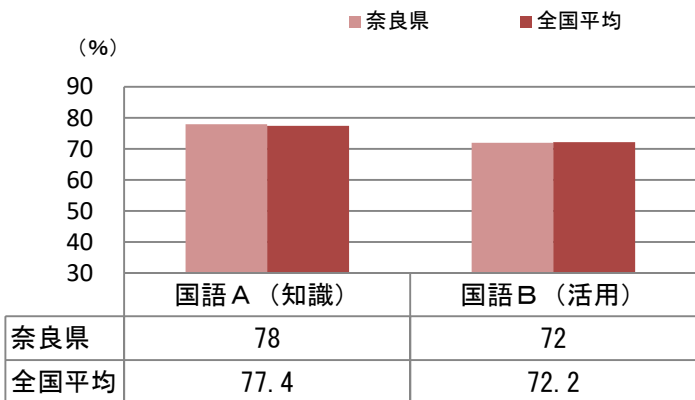
算数 B (活用)



1-2 学力の状況(中学生)

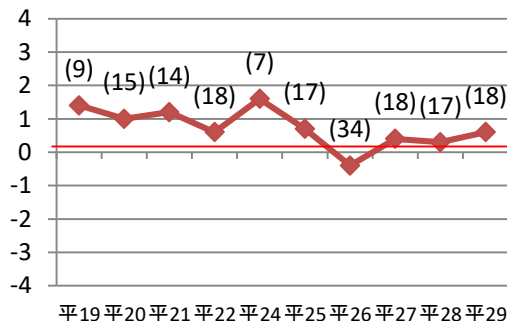
・中学生の学力の状況を4教科の平均正答率で見ると、国語A、国語B、数学A、数学Bの全ての教科で全国平均並みであった。参考:A問題は「知識」の問題であり、B問題は「活用」の問題であってPISA(OECDの国際比較学力テスト)型学力に対応する問題である。

H29平均正答率(国語)

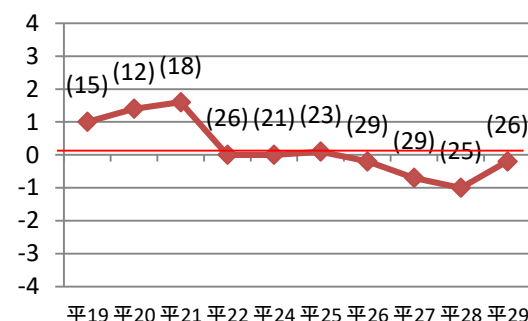


平均正答率の全国平均との差の推移

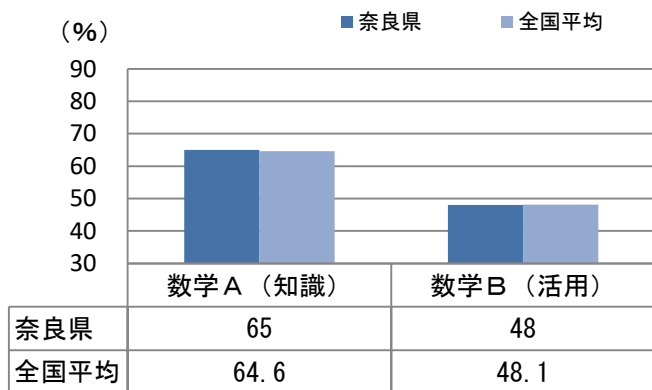
国語 A (知識)



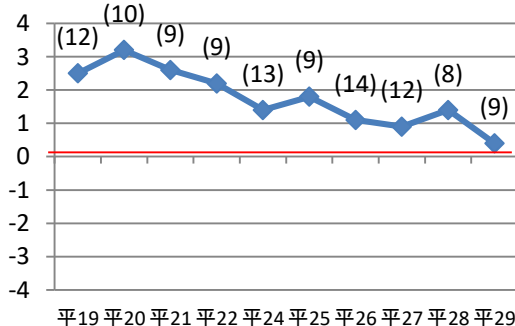
国語 B (活用)



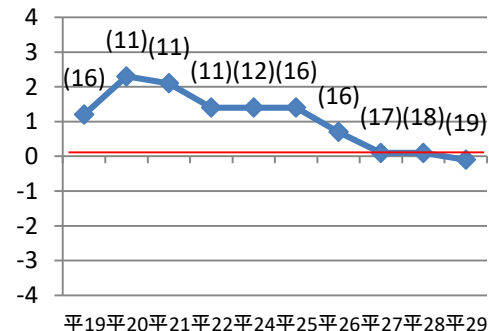
H29平均正答率(数学)



数学 A (知識)



数学 B (活用)

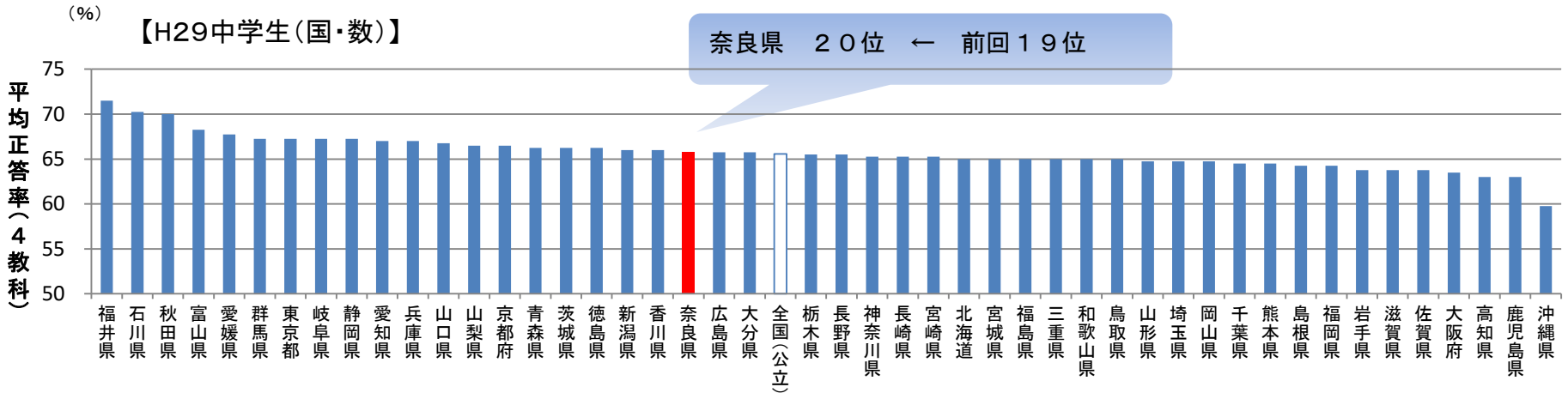
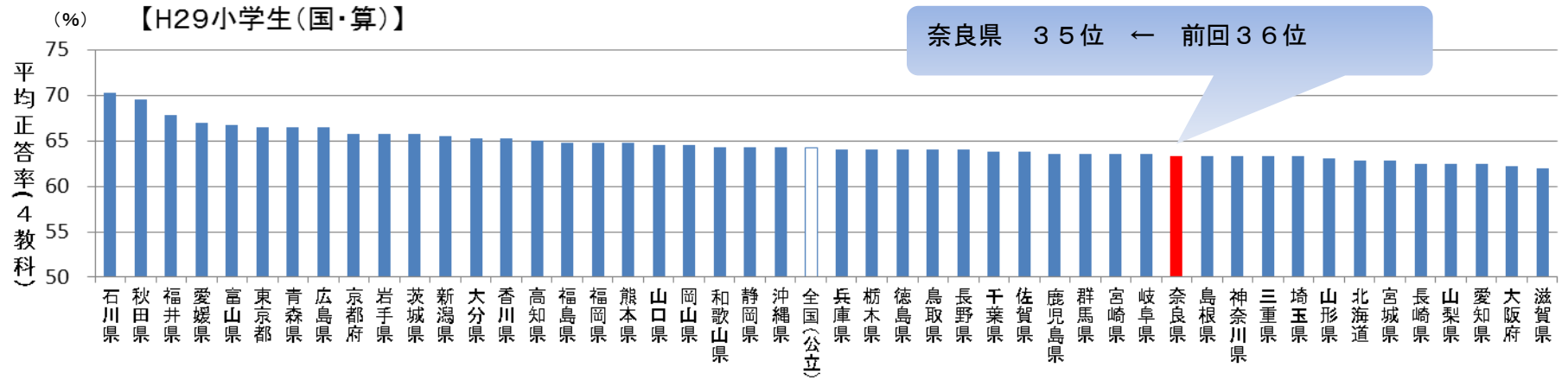


()内は全国順位

1-3 学力の状況(都道府県別比較)

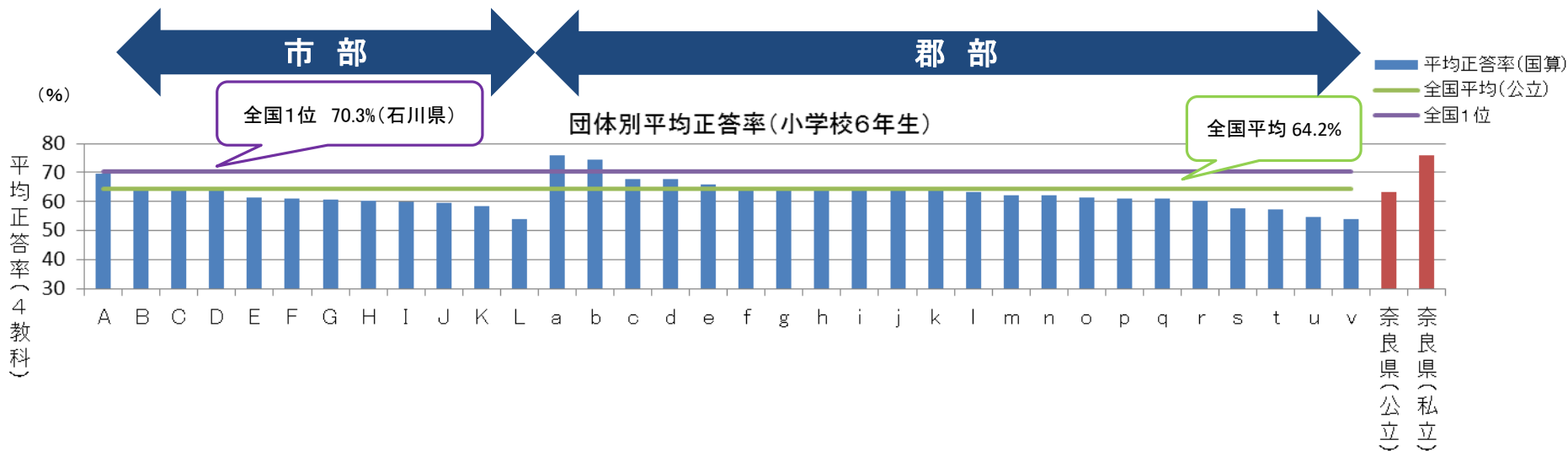
・都道府県別に平均正答率(4教科総合)を見ると、小学生35位(昨年度36位)。石川県、秋田県、福井県が昨年度と同様に上位を占めている。中学生は20位(昨年度19位)。福井県、石川県、秋田県が昨年度と同様に上位を占めている。

注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの

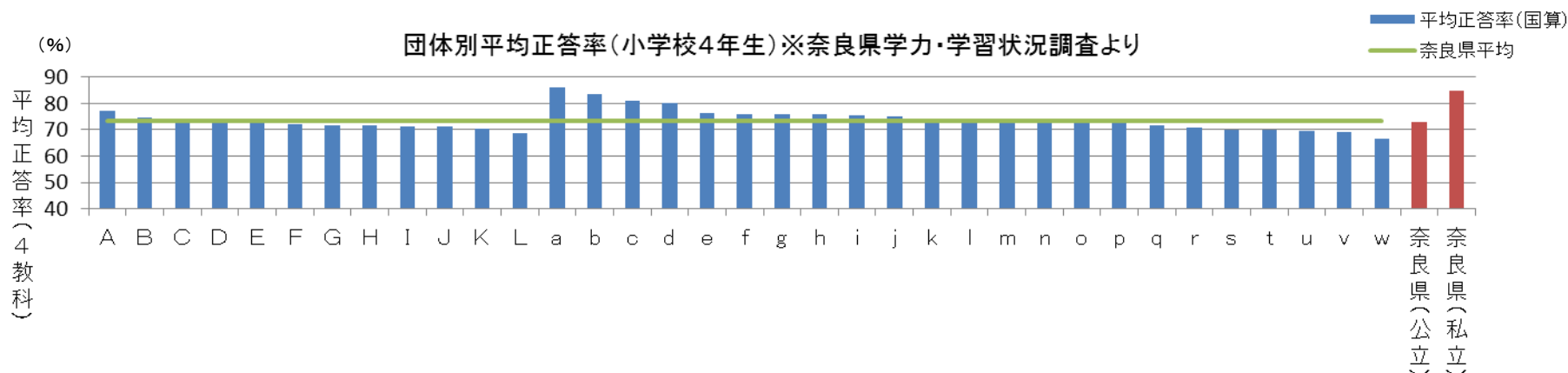


1-4 学力(団体別比較・小学生)

・団体別に平均正答率(4教科総合)を見ると、小学校6年生で全国平均を上回っているのは、市部では12団体のうち3団体25.0%(H28 33.3% H27 25.0%)。郡部では27団体のうち11団体40.7%(H28 42.3% H27 33.3%)。小学校4年生で奈良県平均を上回っているのは、市部では12団体のうち4団体33.3%。郡部では25団体のうち16団体64.0%。 注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの



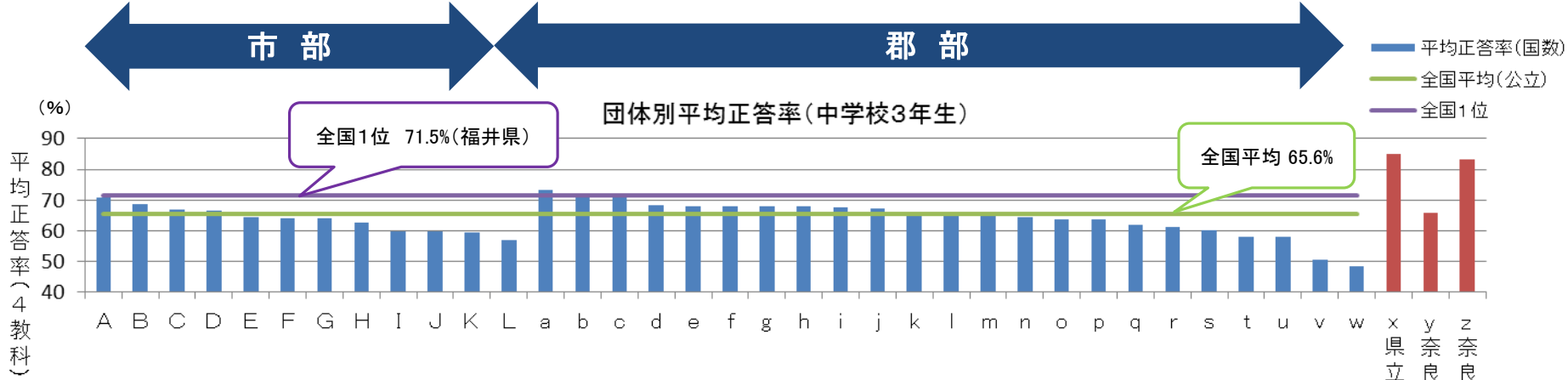
※ 児童数が3人以下の5団体は非表示。→曾爾村、黒滝村、野迫川村、上北山村、川上村



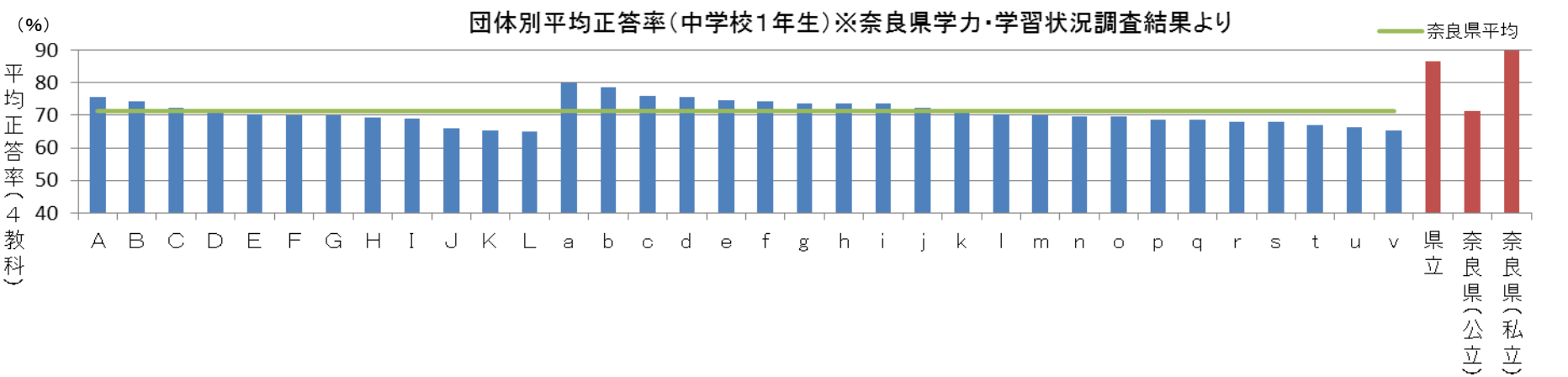
※ 児童数が3人以下の4団体は非表示。→御杖村、野迫川村、下北山村、上北山村

1-5 学力(団体別比較・中学生)

・団体別に平均正答率を見ると、中学校3年生で全国平均を上回っているのは、市部では12団体のうち4団体33.3% (H28 25.0% H27 25.0%)。郡部では26団体のうち12団体46.2% (H28 52.0% H27 44.0%)。中学校1年生で奈良県平均を上回っているのは、市部では12団体のうち4団体33.3%。郡部では25団体のうち14団体56.0%。
 注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの

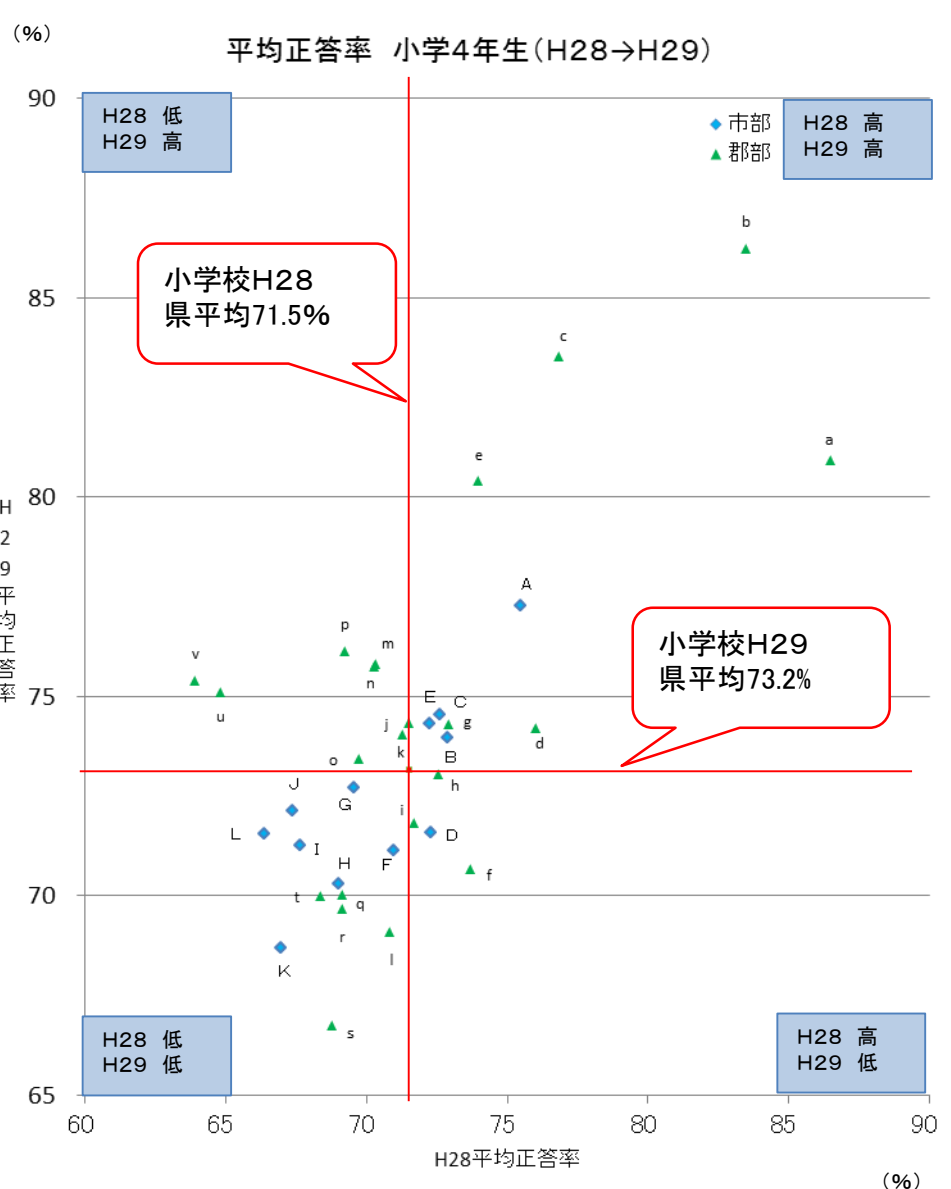
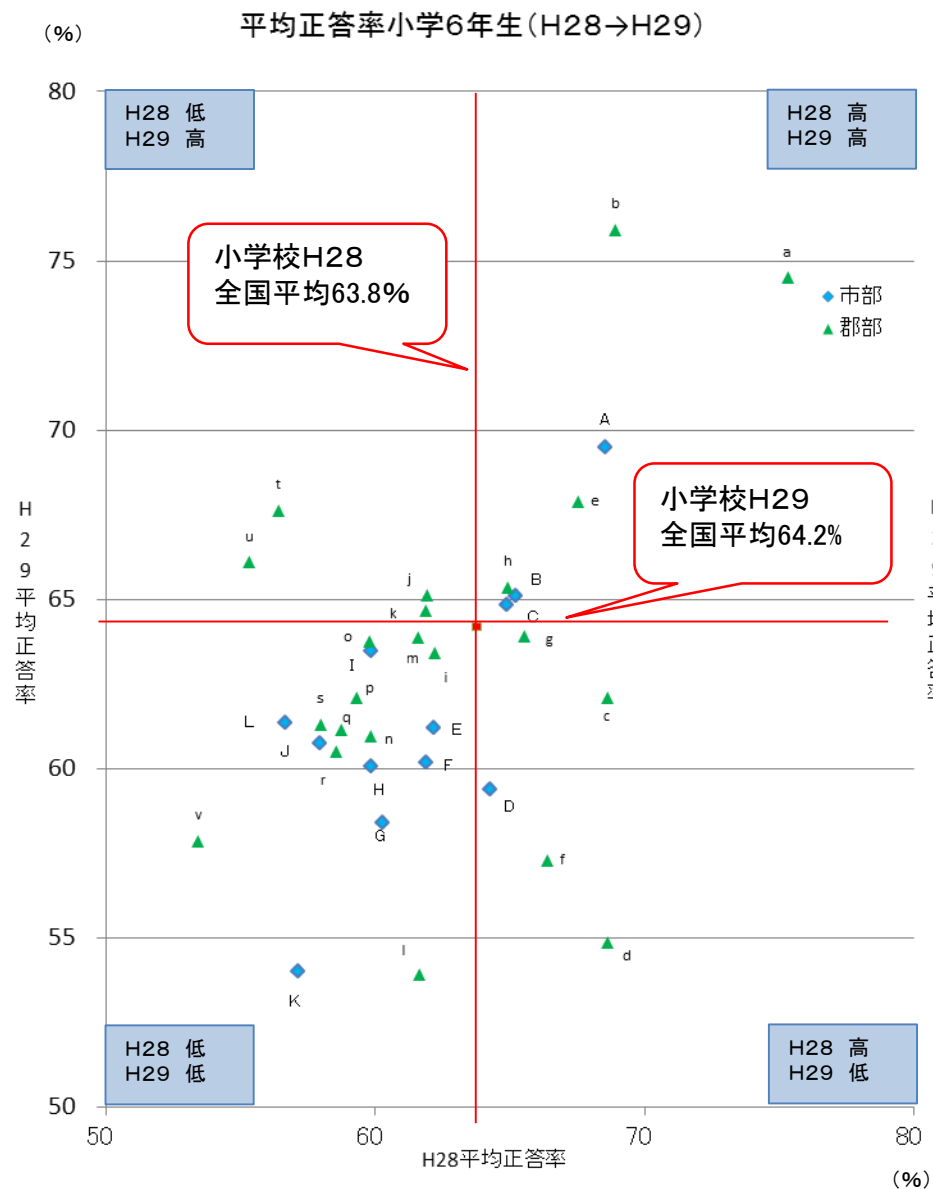


※ 生徒数が3人以下の3団体は非表示。→黒滝村、上北山村、川上村



※ 生徒数が3人以下の4団体は非表示。→黒滝村、野迫川村、下北山村、上北山村

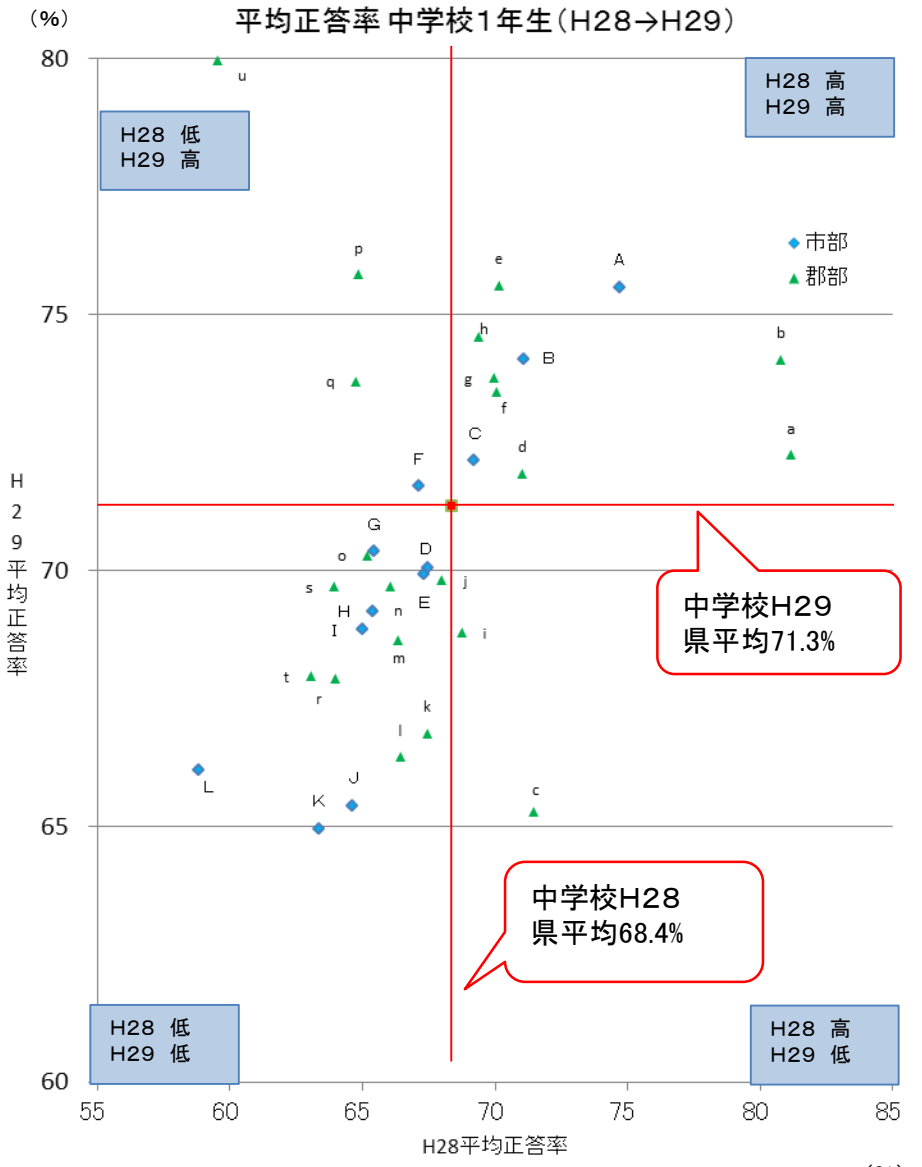
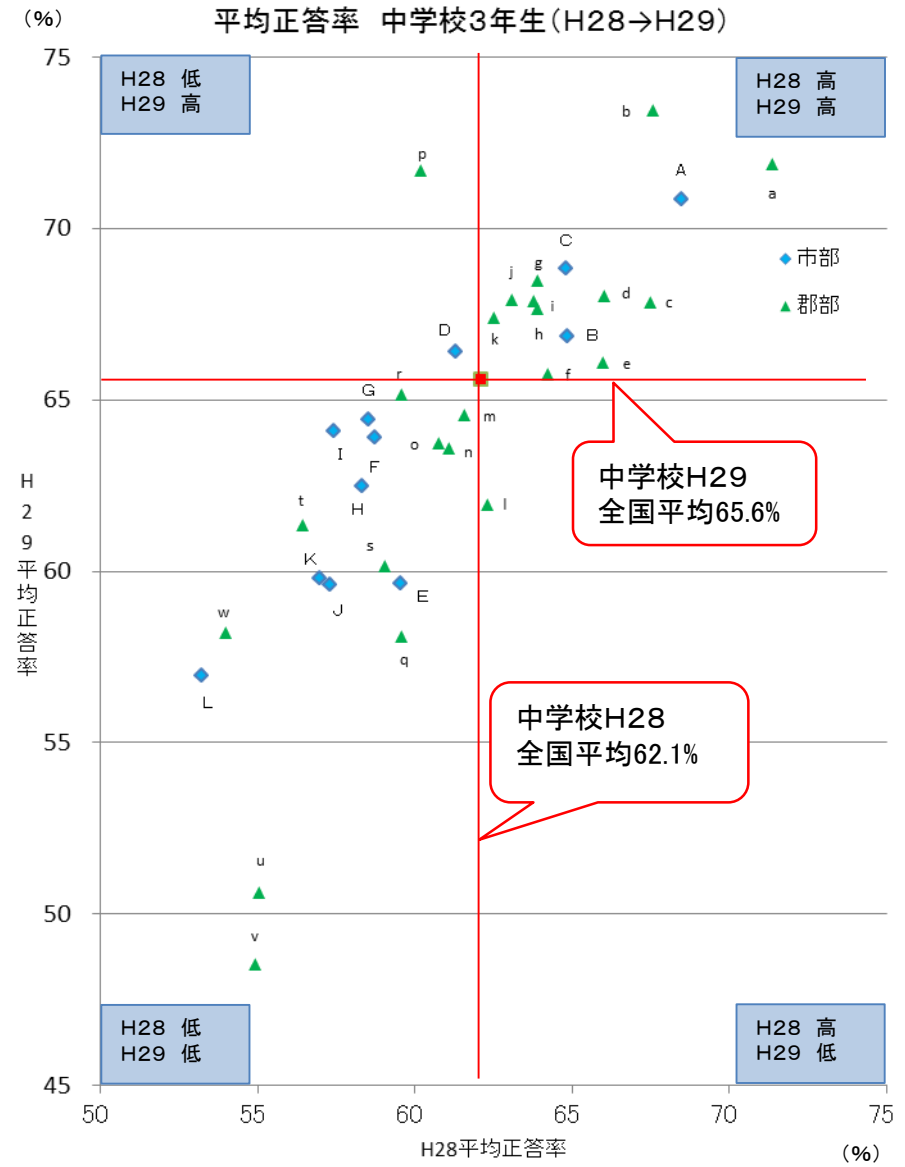
1-6 学力(団体別比較・小学生の推移H28→H29)



※ 児童数が3人以下の5団体は非表示。
 →曾爾村、黒滝村、野迫川村、上北山村、川上村

※ 児童数が3人以下の5団体は非表示。
 →御杖村、黒滝村、野迫川村、下北山村、上北山村

1-7 学力(団体別比較・中学生の推移H28→H29)



※ 生徒数が3人以下の3団体は非表示。→黒滝村、上北山村、川上村

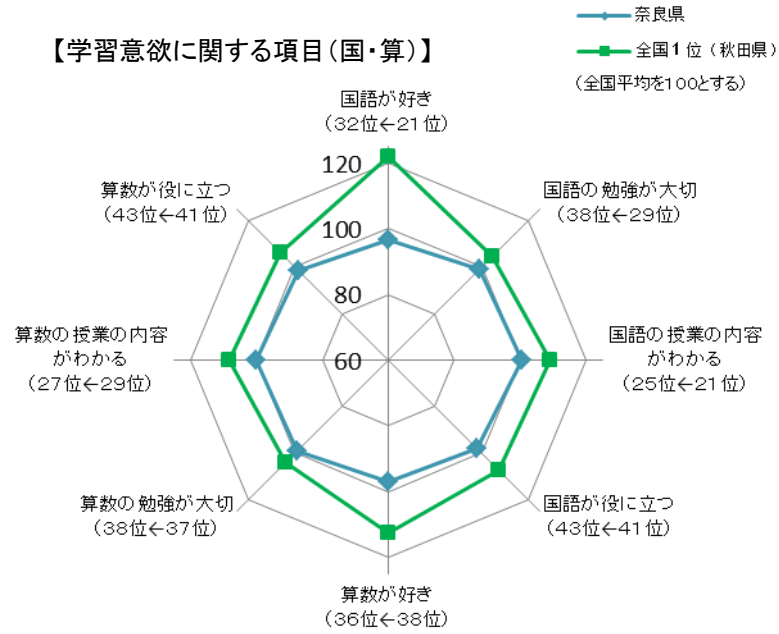
※ 生徒数が3人以下の5団体は非表示。
→ 黒滝村、野迫川村、下北山村、上北山村、川上村

2 学習意欲の状況について

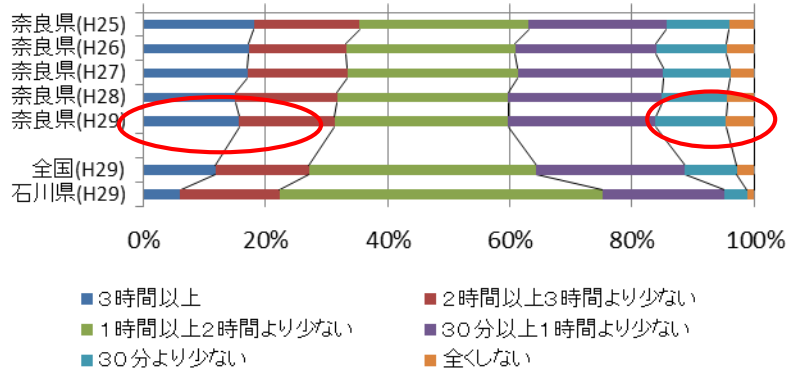
2-1 学習意欲(小学生)

- ・学習意欲に関する項目をみると、多くの項目で全国平均並みであるが、「算数の勉強が好き」という項目での差が顕著に見られる。
- ・平日の学習時間について、「2時間以上」と「1時間未満」の割合が全国平均より高く、依然として二極化傾向が続いている。

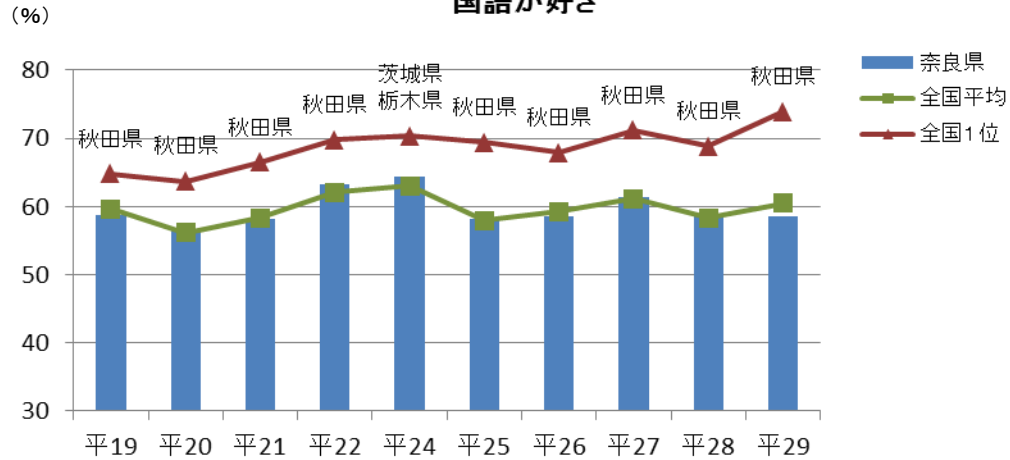
【学習意欲に関する項目(国・算)】



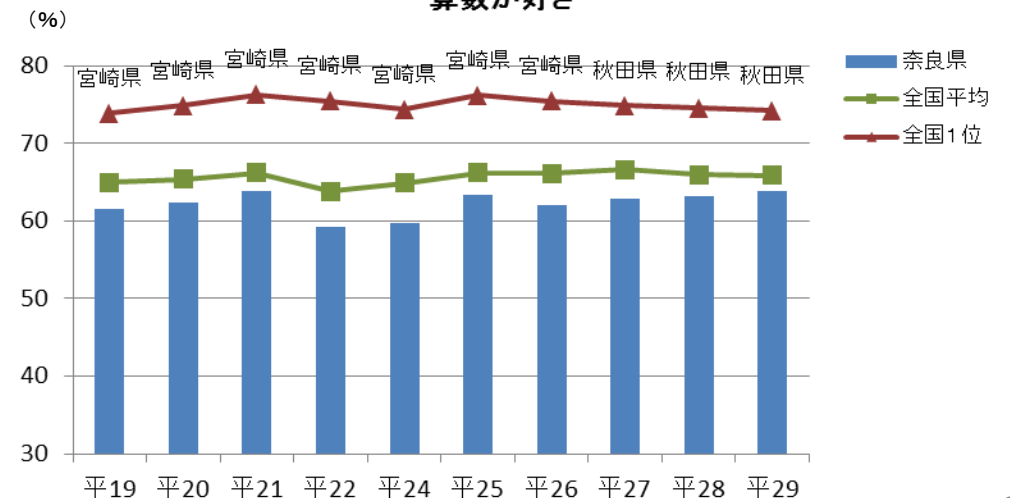
学習時間(平日・小学生)



国語が好き



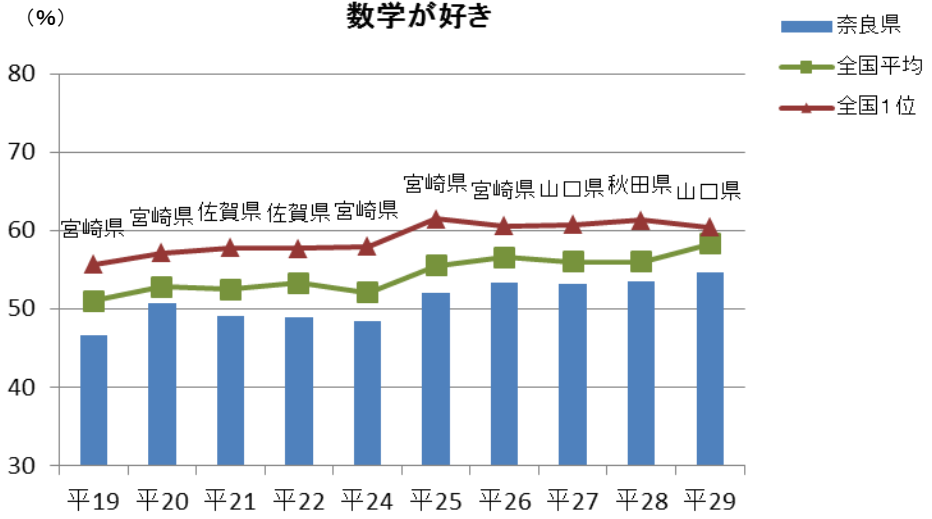
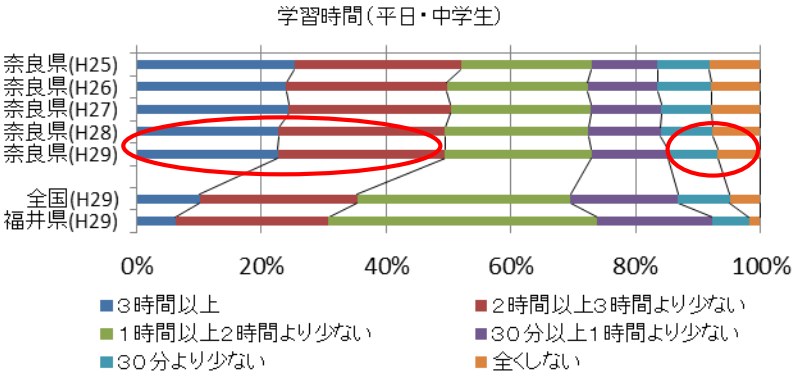
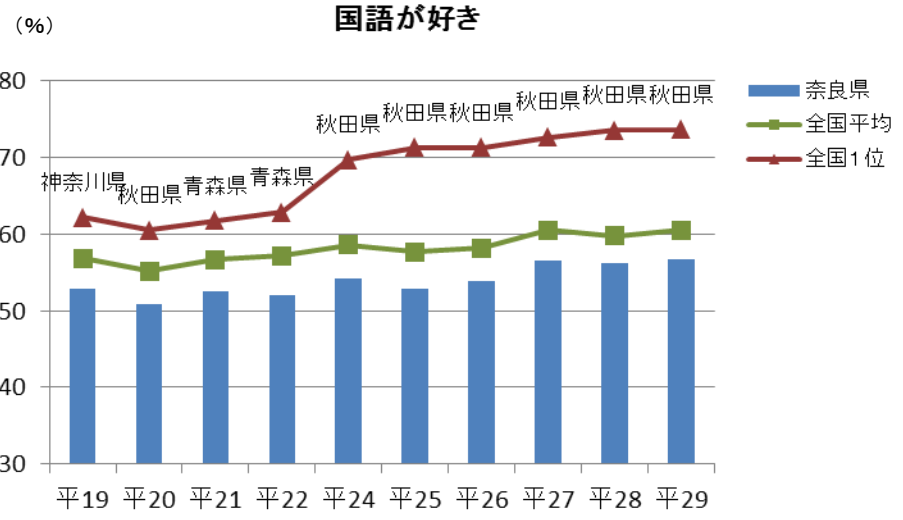
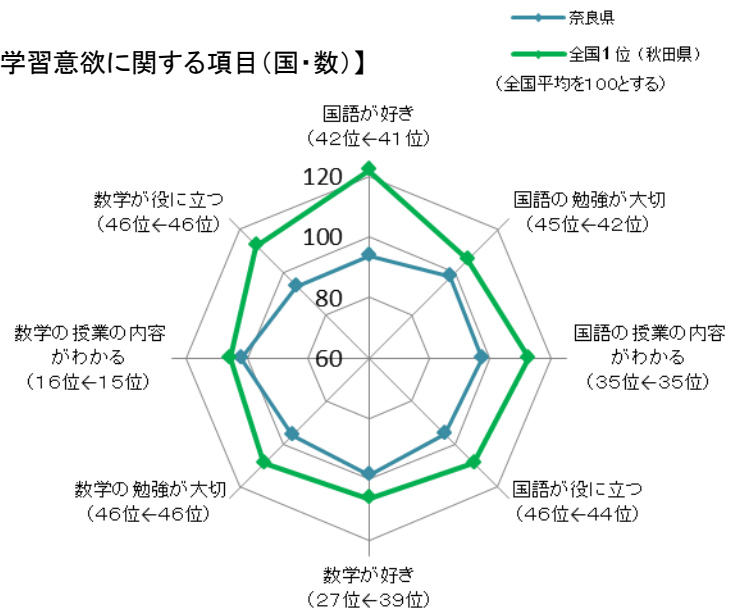
算数が好き



2-2 学習意欲(中学生)

- ・学習意欲に関する項目をみると、多くの項目で全国平均を下回っており、「国語・数学の勉強が好き」という項目でその差が顕著である。
- ・平日の学習時間について、「2時間以上」の割合は、全国トップクラスである。一方で「全くしない」の割合も高く、依然として二極化傾向が続いている。

【学習意欲に関する項目(国・数)】

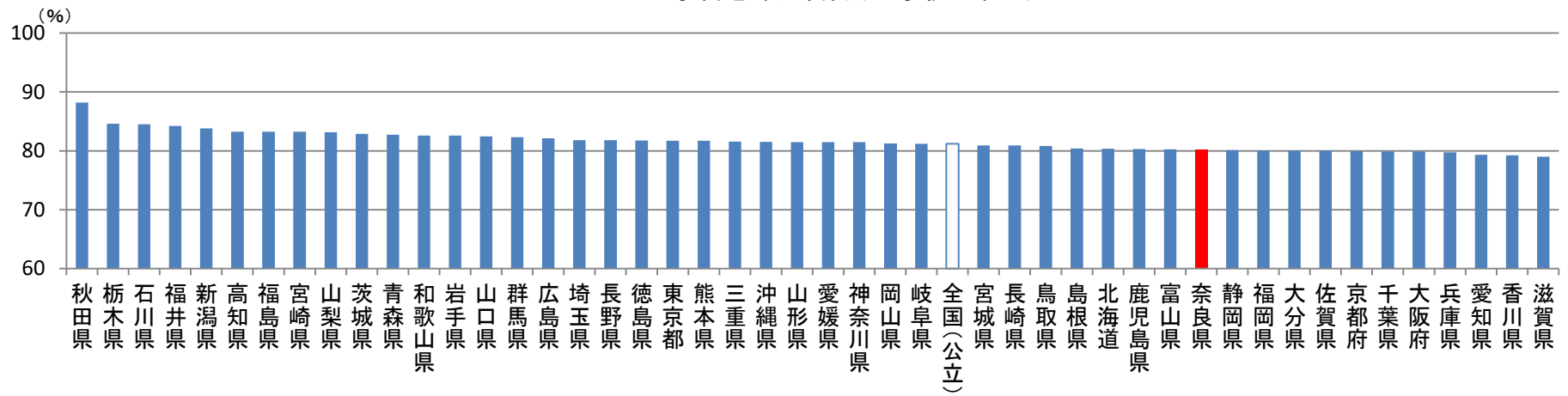


2-3 学習意欲の状況(都道府県別比較)

・都道府県別に、学習意欲に関する項目(8項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、都道府県間で大きな差は見られないが、小学生36位(昨年度31位)、中学生44位(昨年度46位)と低位にある。秋田県が小・中学生とも1位である。

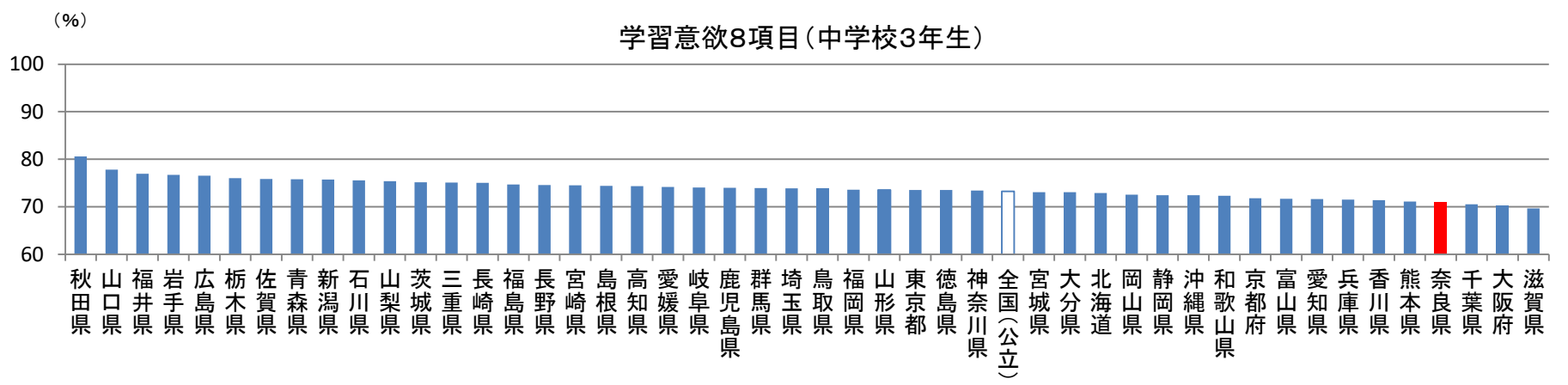
【小学生】

学習意欲8項目(小学校6年生)



【中学生】

学習意欲8項目(中学校3年生)

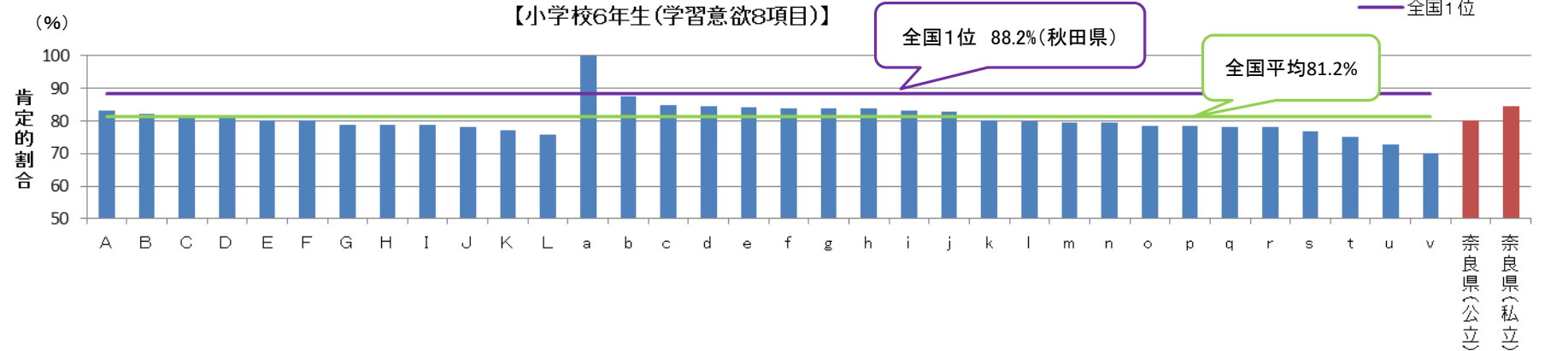


2-4 学習意欲の状況(団体別)

・団体別に、学習意欲に関する8項目(8項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、全国平均を上回っているのは、小学生では、市部で4団体33.3%、郡部で14団体51.9%。中学生では、市部で1団体8.3%、郡部で11団体42.3%である。

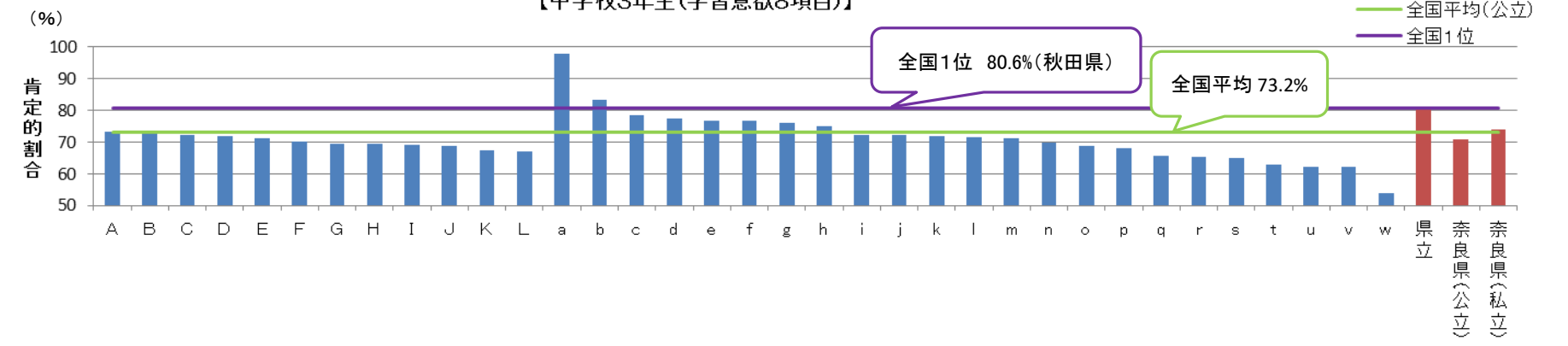


【小学生】



※ 児童数が3人以下の5団体は非表示。→曾爾村、黒滝村、野迫川村、上北山村、川上村

【中学生】

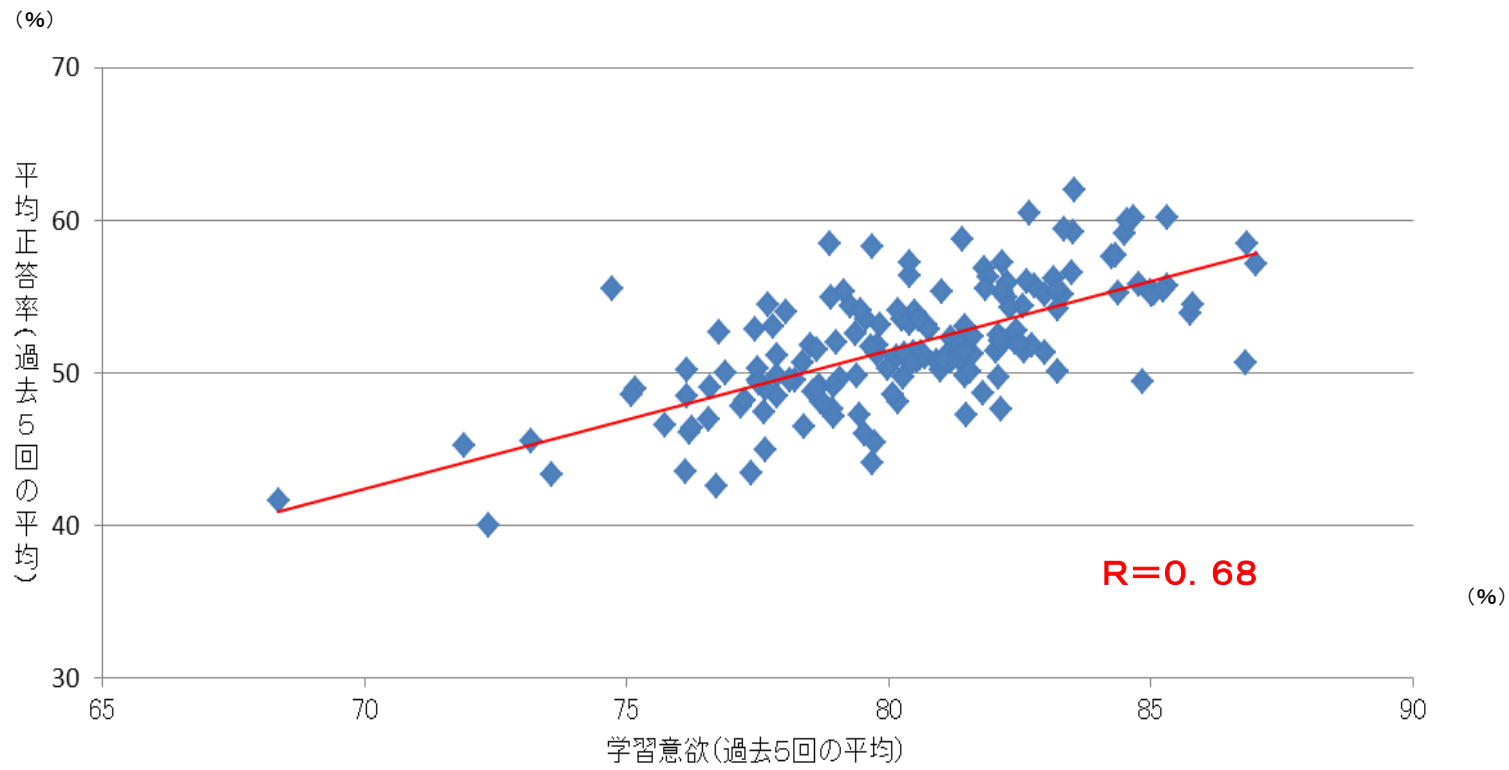


※ 生徒数が3人以下の3団体は非表示。→黒滝村、上北山村、川上村

2-5 過去5年間の小学校別の相関について①

・学力と学習意欲に関する項目における過去5年間の学校別の相関を見ると、学力と学習意欲には高い相関が見られた。

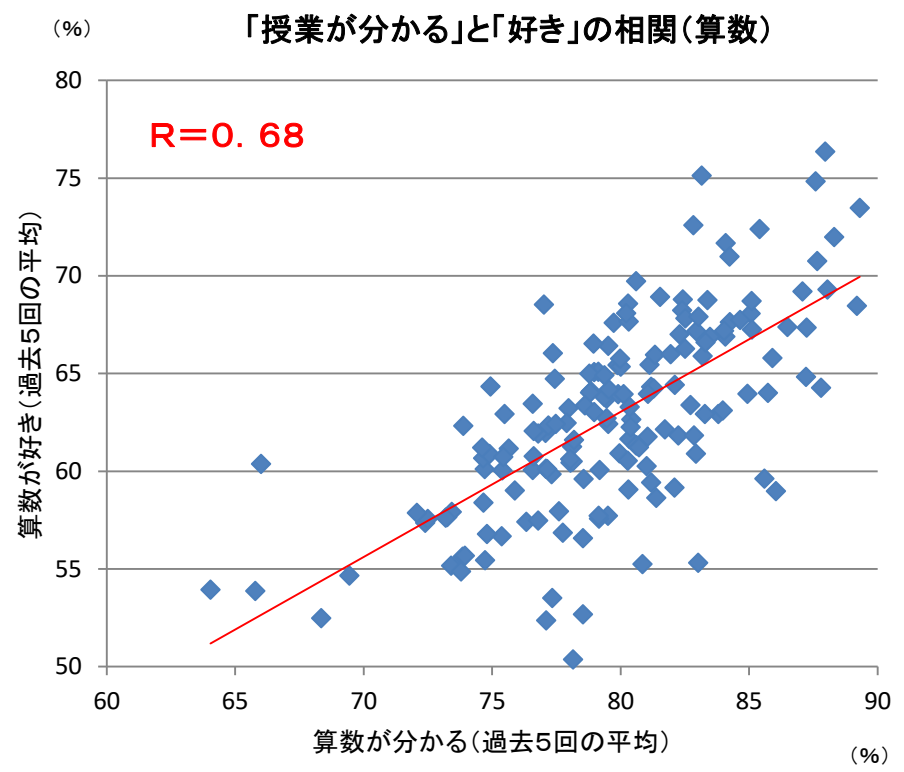
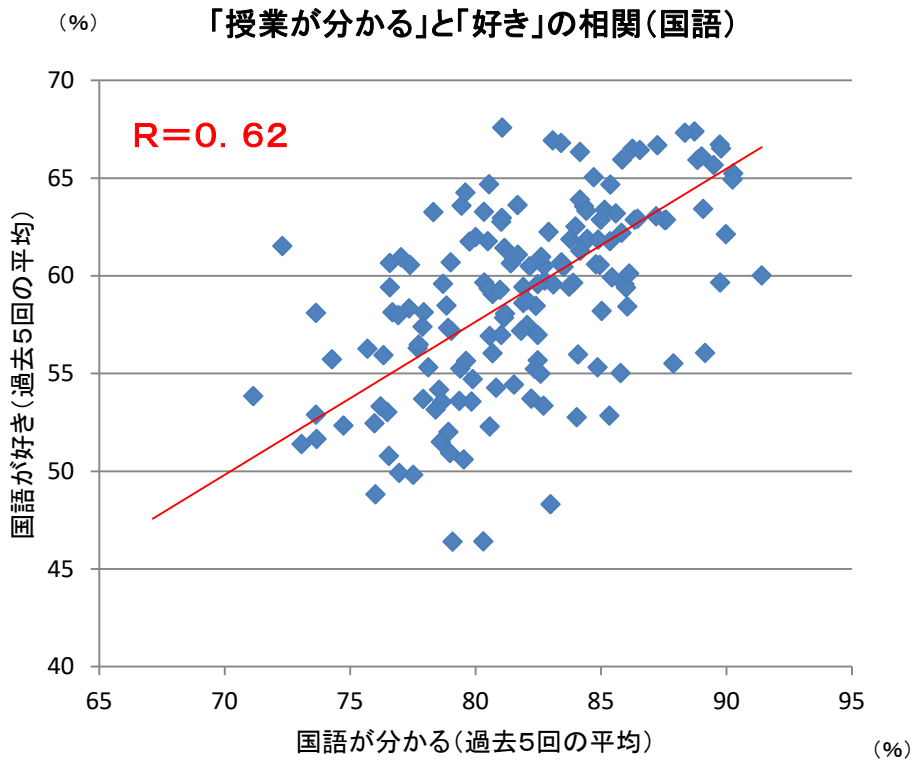
学力と学習意欲の相関



R=相関係数(絶対値)	相関の強さ
0.7以上	強い
0.4以上0.7未満	中間の強さ
0.2以上0.4未満	弱い
0.2未満	相関がない

2-6 過去5年間の小学校別の相関について②

・学習意欲に関する項目における過去5年間の学校別の相関を見ると、「授業がわかる」と「教科が好き」は、高い相関が見られた。教員がわかる授業をすることで児童の学習意欲が向上することがわかる。



R=相関係数(絶対値)	相関の強さ
0.7以上	強い
0.4以上0.7未満	中間の強さ
0.2以上0.4未満	弱い
0.2未満	相関がない

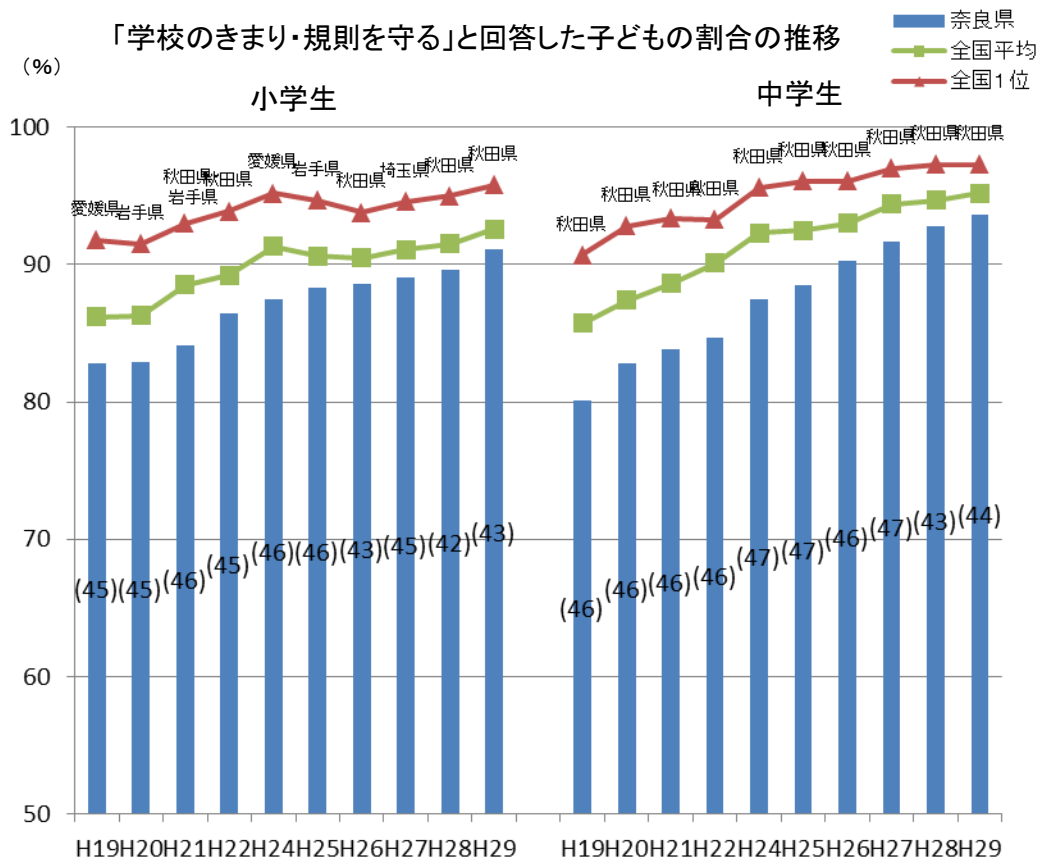
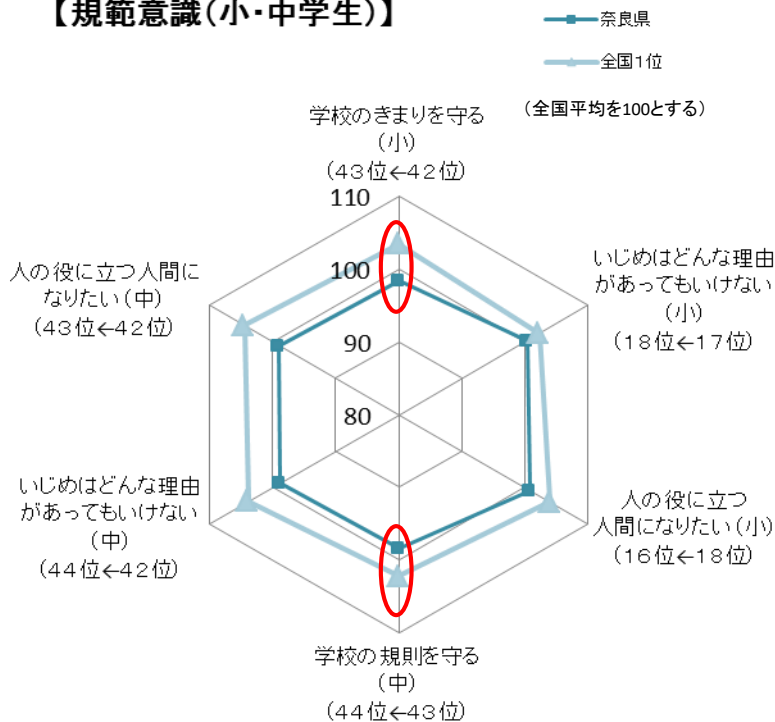
3 規範意識の状況について

3-1 規範意識の状況

・規範意識に関する項目に肯定的に回答した児童生徒の割合を見ると、小学校、中学校で全国平均との差が見られる。小学校、中学校ともに「学校のきまり(規則)を守る」の項目で全国平均との差が大きい、年々改善傾向が見られる。

注)規範意識：広く集団生活の維持・向上のために一人一人が従うべき価値判断の基準を守ろうとする意識

【規範意識(小・中学生)】

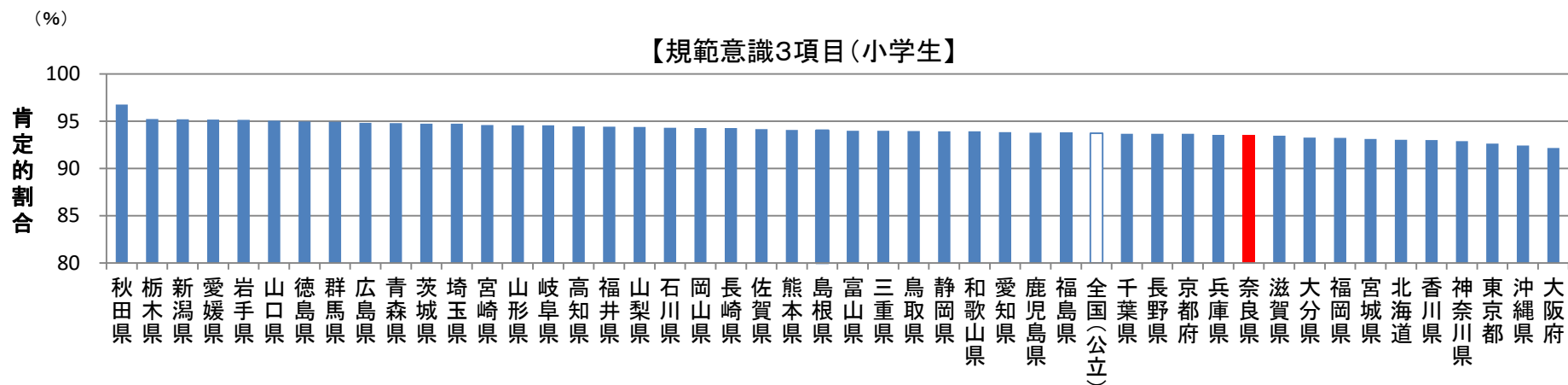


()内は全国順位

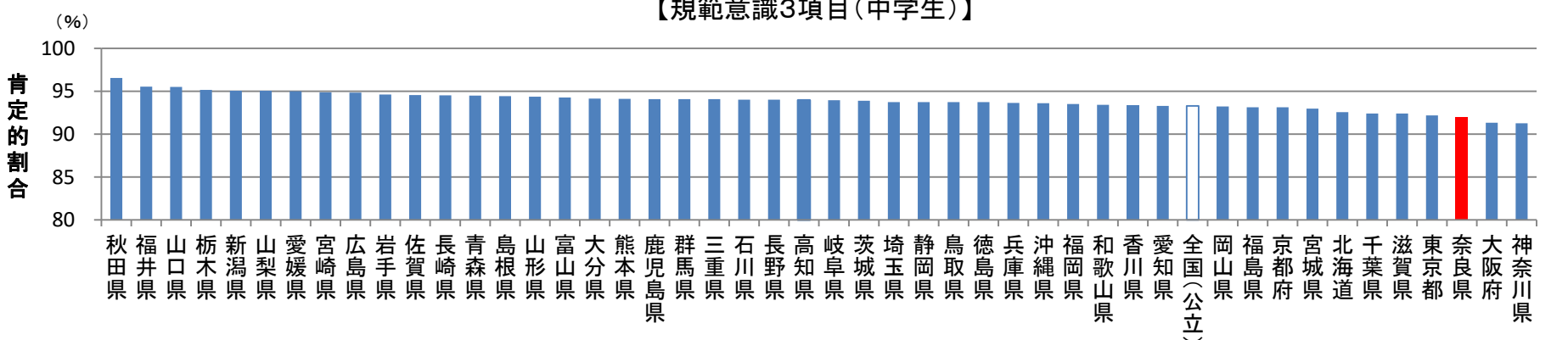
3-2 規範意識の状況(都道府県別比較)

・都道府県別に、規範意識に関する項目(3項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、都道府県間で大きな差は見られないが、奈良県は小学生37位(昨年度は40位)、中学生45位(昨年度は45位)と低位にある。秋田県が小・中学生とも1位である。

【小学生】

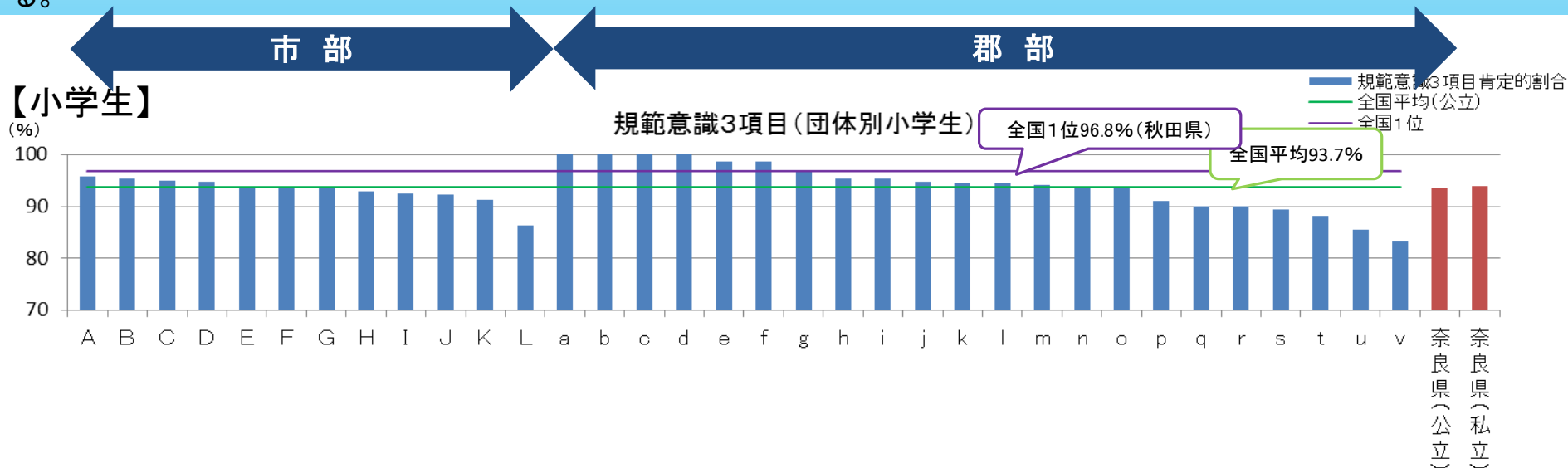


【中学生】

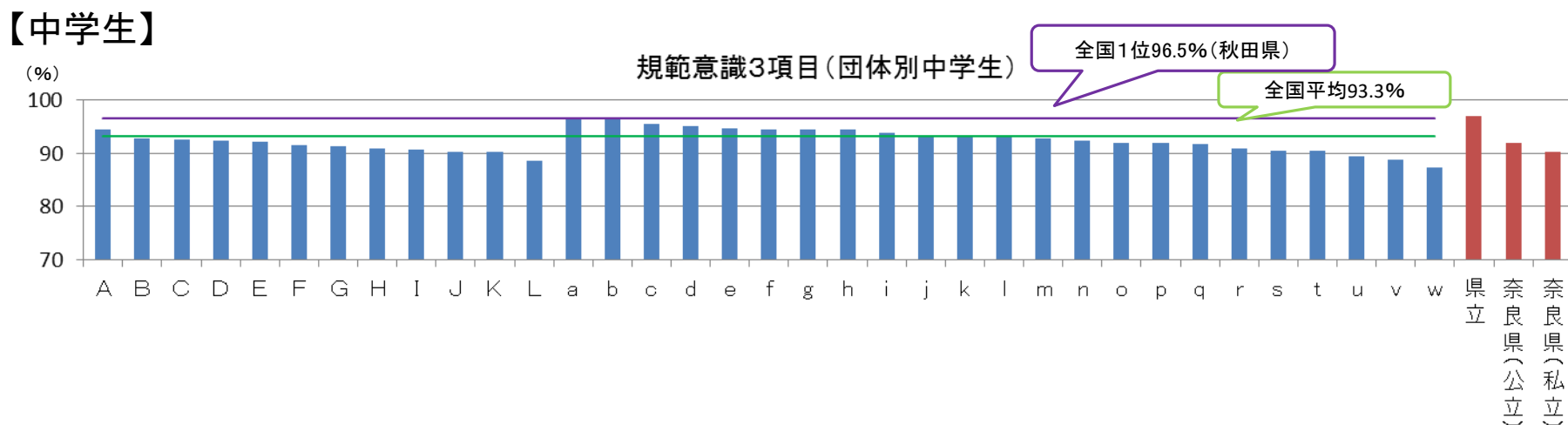


3-3 規範意識の状況(団体別)

・団体別に、規範意識に関する項目(3項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、全国平均を上回っているのは、小学生では、市部で5団体41.7%、郡部で19団体70.4%。中学生では、市部で1団体8.3%、郡部で12団体46.2%である。



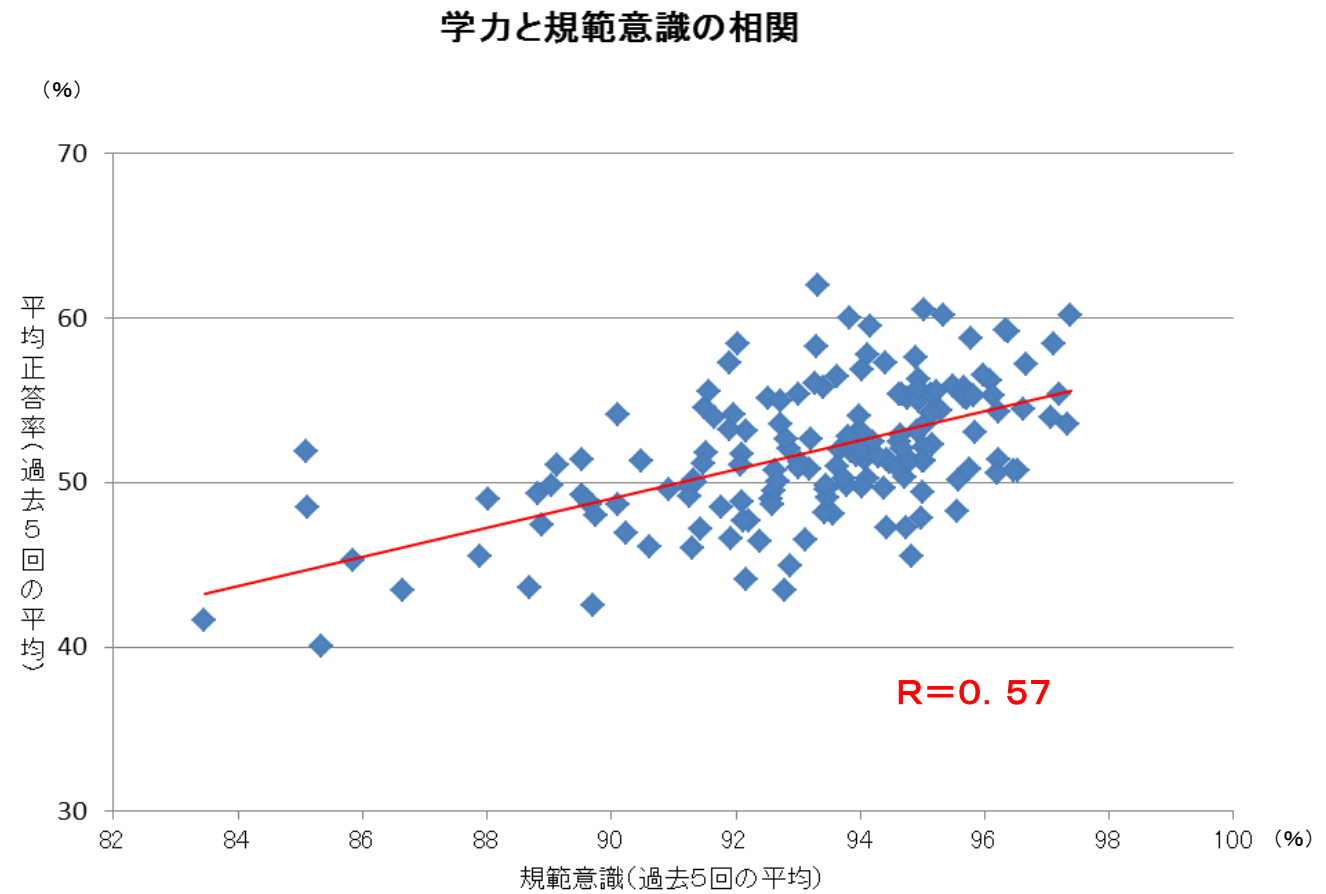
※ 児童数が3人以下の5団体は非表示。→曾爾村、黒滝村、野迫川村、上北山村、川上村



※ 生徒数が3人以下の3団体は非表示。→黒滝村、上北山村、川上村

3-4 過去5年間の小学校別の相関について

・学力と規範意識に関する項目における過去5年間の学校別の相関を見ると、学力と規範意識には高い相関が見られた。



R=相関係数(絶対値)	相関の強さ
0.7以上	強い
0.4以上0.7未満	中間の強さ
0.2以上0.4未満	弱い
0.2未満	相関がない